

連載

- 10 世界のキーパーソン
- 11 国内人情情報
- 27 Book Reviewing Globe
- 40 テイレシアスの食卓——河井健司
- 42 大往生考
- 51 西風
- 58 新・危機管理のノウハウ
- 59 交差点——読者の声・編集者の声

- 80 金融の世紀——黒木亮
- 88 皇室の風——岩井克己
- 90 日本の科学アラカルト
- 92 新・大学評判記
- 94 本に遇う——河谷史夫
- 96 をんな千一夜——石井妙子
- 114 マスコミ業界ばなし

社会・文化



生殖医療の議論はタブー。全ては産婦人科団体にお任せ、という幼稚な国柄。水面下では中国人相手の「産み分けビジネス」が横行中。日本人の希望者もグレー医療へ駆け込む事態に。法制化が急務ではないか。(110頁)

- 98 社会・文化●情報カプセル
- 100 「フーベル賞礼賛」が招く災厄
- 102 大阪カジノに忍び込む「中国の影」
- 104 アジアの交響楽団「来日ラッシュ」の意義——変わりゆく音楽界の世界地図
- 106 大学院「無償化」は誰のためか——学生も研究も質が下がるだけ
- 108 映画人レッドフォードが描いた理想——今の米国を予告したリベラル俳優
- 110 日本のサンクチュアリ●シリーズ 614
- 男女「産み分け」——「アンメラ医療」が蔓延る日本

経済

- 60 「金相場」はどこへ向かうか——米ドル失墜で「ゴールド」の時代
- 62 日本生命と三菱UFJの「裏結託」
- 64 ENEOS「宮田独裁」の憂鬱
- 67 連載「クローズアップ」山村明義（東京メトロ前社長）——不適切言動「辞任劇」の深層
- 68 非上場化阻止「MBO潰し」が横行——ファンドの餌食になる企業の稚拙
- 70 アサヒビール「サイバー重症」の代償——元には戻らぬ深刻な「損失」
- 72 村上ファンド「跡目相続」の行方
- 74 経済●情報カプセル
- 78 連載「地方金融の研究」あいちフィナンシャルグループ——ファンド主導の「再々編」はあるか
- 82 「高齢者用NISA」にご用心——煽るメディアと証券会社の「商魂」
- 84 連載「企業研究」三菱電機

若手社員を自殺と精神病に追い込む社風は今も健在。パワハラはより狡猾・陰湿に变じ、品質不正の元凶は温存されたまま。黒字リストラで人件費削減を進める経営陣は、不埒な高額報酬に酔いしれる。(84頁)



政治



安倍の真似をすれば万事OKという浅慮。形ばかりの保守強硬路線への熱が冷めれば、高い支持率も坂を下るだけ。維新の足抜けがあれば、待つのは不信任案と展望なき解散総選挙。年度末まで辿りつけるか。(48頁)

- 44 政治●情報カプセル
- 46 創価学会・公明党は「政界撤退」へ
- 48 高市自維政権の「短命度」
- 52 連載「政界スキャン」高市「麻苗」政権はどう壊れるか
- 54 保守「高市親衛隊」が失望する日
- 56 維新の会が始めた「政党の終活」——主要幹部の身勝手な「近未来図」

WORLD

- 3 連載「巻頭インタビュー」太田肇——政界混沌「霞が関」を立て直す時
- 6 期待過剰の高市外交
- 12 米国の危うい「西半球」二面倒
- 14 EUが「対露防衛」で愚かな分断——「ドローン撃退」で独仏伊のエゴ
- 16 太平洋島嶼国で進む中国の浸透——脅かされる大海原の安全保障
- 18 WORLD●情報カプセル
- 22 バングラ搾取「日米欧」の非道——労働法改正でも続く「欺瞞」
- 24 アフガン「新たな争奪戦」が幕開け——米中角逐の優劣を決める「要衝」
- 28 中国が「シベリア侵略」に進進
- 30 トルコが狙う中東復興の主導権——ガザシリア利権の「両獲り」を画策
- 32 北朝鮮「ドローン戦力」が急伸長
- 34 高市総理で激変の「日中関係」
- 36 またも襲来「中国株ショック」——上海発「世界同時安」はあるか
- 38 連載「現代史の言霊」11月の虐殺——パリ同時多発テロ2015年

インド太平洋重視はごもつともだが、実態は石破と同じ米国一辺倒路線。北方領土や拉致問題でも安倍外交をなぞるなら、成果は期待できない。巧言令色で目をくらますが、脆弱な政権では自ずと限界がある。(6頁)

